

令和6年度 大分地方最低賃金審議会

特定最低賃金専門部会

鉄鋼業

- 1 日時 令和6年10月2日(水) 午前10時00分～
- 2 場所 大分労働局 4階会議室
(大分市東春日町17番20号)
- 3 出席委員
公益代表：清水委員、松隈委員
労働者代表：首藤委員、田中委員、原口委員
使用者代表：岩田委員、日野委員、松尾委員
- 4 事務局
大分労働局：本多労働基準部長、竹内賃金室長、幡手賃金室長補佐
- 5 議題
(1)金額審議
(2)その他
- 6 議事要旨
(1)金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議要旨
労働側委員からは、
 - ・鉄鋼業は、技術習得に時間を要するため人材の育成が重要であるが、そのため賃金引き上げにより魅力ある職場を作っていく必要がある
 - ・現状は人材獲得が厳しく、常に人手不足の状況になっている
 - ・経営状況が厳しいことは理解しているが、優秀な人材を確保するためには、現状の景況感だけではなく将来を見据えた投資観念が必要と考えるなどの説明があった。

使側委員からは、

- ・鉄鋼業の景況は、鋼材需要が全体としては低水準となっている
- ・このような中、カーボンニュートラル推進等のためコストアップしており賃金引き上げの原資確保が難しい状況である
- ・物価上昇が家計を圧迫し、賃金の引き上げを行わなければいけないのは理解しているが、昨年度の対地賃率は全国で最も高く、優位性は確保できている
- ・福利厚生や職場環境改善等を含め総合的に労働者の定着を図っているなどの説明があった。

ウ 協議結果

公益委員より歩み寄りを求め慎重な審議が行われたが、意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月18日(金)午前10時00分から開催することとなった。